

なめがたを食べよう

彩り野菜BOX

vol.61

旬のさまざまな行方産野菜を詰め込んだ「彩り野菜BOX」。JAなめがたの若手職員と市の職員が協力して、市内はもとより全国に向けて発送しています。

今回は、この取り組みについて、JAなめがた若手職員チームリーダーの會田春美さんと、村山正寛さんにお話を伺いました。

「行方の野菜をもっとPRしたいという思

いから、この取り組みを始めました。私たちは、行方市が企画した6次産業化セミナーに参加し、市や東京農業大学からのアドバイスを受けながら勉強を重ね、具体化していきました。ボックスには葉物野菜をメインに、季節の野菜を入れていきます。今では全国から注文があり、市のふるさと納税の返礼品としても人気があります」と會田さん。

「市内の農家の方々は日々努力を重ね、おいしい野菜を消費者に届けるための地道な取り組みをしています。葉物野菜独特の苦みやえぐみなどをなくす工夫や肥料の与え方など、常に研究を重ねて作られた野菜をもっと積極的にPRしていきたい。行方の肥沃な台地は、『どんな野菜でも育つ』、『全ての野菜が高品質』です。その中で、これらの野菜の販路をどのようにして広げていくか、今後も考えていきます。このボックスを機に『行方ファン』を増やし、行方市に來訪してもらい、交流人口の拡大につなげていければ」と村山さん。

このボックスから、行方の食材を食べて、まちの空気や風土を感じる。そして、そんなまちに住んでみたい、住んでみようかと、やがては定住につながる…と夢は大きくふくらみます。今後は野菜だけでなく、畜産物や水産物など、この地域の特産物を盛り込んだボックスにしたいと、チームのメンバーたちは考えています。

「このボックスが『地域をつなぐツール』となればうれしいです」と笑顔で話してくれたお二人。「なめがたを食べよう」は今号をもって最終回となりますが、市はこれからも、地域の皆さんや関係機関と協力しながら、行方の農畜水産業を盛り上げていきます。

合言葉はみんなで、「なめがたを食べよう」。約5年にわたり、ご愛読ありがとうございます。



内容の一例です。行方を代表する野菜がたくさん入っています



私たちが真心込めてお届けします。JAなめがた若手職員と市職員

おいしく食べよう！行方のさつまいも



SWEET sweet the 行方産干し芋

スイーツのような干し芋をお届けします

JAなめがたがブランド化したさつまいも「紅優甘（べにゆうか）」を使用した干し芋です。

水はけの良い赤土が広がる台地で育った紅優甘は、その名の通り優しい甘みが特長。パッケージは、霞ヶ浦と北浦をイメージさせる水色で、帆引き船をイメージした行方の「N」がデザインされています。

写真の平干し芋の他に、丸干し芋、自家消費用の段ボール箱入り平干し芋もあります。お友だちやご家族と、また贈答用にもぜひどうぞ。

【お問い合わせ】JAなめがた ☎0299-72-1877